令和３年度 社会福祉法人大崎上島町社会福祉協議会

事 業 報 告

社協基本理念

島だからこそできる
家族のような
“互近助”どうしの支え合い
そんな福祉のまちを
住民とともに目指します

社会福祉法人 大崎上島町社会福祉協議会

令 和 3 年 度

社会福祉法人 大崎上島町社会福祉協議会事業報告

大崎上島町が策定した「第２次地域福祉計画（平成 31 年度～5 か年）」に、社会福祉協議会は地域福祉を推進する中心的な団体として、地域に密着した活動を安定的に継続して実施していくことが求められています。

住民の皆様と共に“住民が安心して暮らし続けられるまちづくり”に向け、計画最終年度を迎える「第３次地域福祉活動計画」に沿い、令和３年度重点事業として、①小地域における共助の仕組みづくりを推進するため「地域づくり会議」の組織化。②生活支援コーディネーターを配置し、生活支援・介護予防サービスの提供体制の整備に向けた「支え合う地域づくり協議体委員会」の開催。③新たな福祉活動ができる人材（ボランティア等）の確保に向けた「赤い羽根ボランティアスクール」の開催。④住民が気軽に集える地域の居場所を確保し、住民のつながる通いの場として「サロン活動（継続）」の支援。⑤今後のまちづくりプランとして、令和４年度からの５か年計画である「第４次地域福祉活動計画」の策定に取り組みました。

一昨年からのコロナ禍の中、本会の事業・活動の実施について、様々な制約を受けました。今後も感染症の拡大防止の観点から、事業・活動の一部については、従来のような方法（集合型）で実施できない状況もあり、新たな展開方策（ハイブリット型）が求められています。

地域包括支援センターでは、住民が住みなれた地域で暮らし続けていけるように、高齢者の総合相談、権利擁護、介護予防マネジメント、包括的・継続的ケアマネジメント等を実施するとともに、地域包括支援ネットワーク会議を定期的に開催し、多職種協働による包括ケアシステムの構築を目指し事業を実施しました。

大崎上島町社協居宅介護支援事業所では、公正中立の立場で利用者の選択に基づき介護支援計画を作成し、適切な保健医療及び福祉サービスを総合的かつ効果的に提供いたしました。また、町からの委託事業である介護認定訪問調査の実施等、介護保険事業の推進に協力しました。

以下、事業ごとに詳しくご報告します。※〈　　〉の中の数字は昨年度の実績です。

１．法人運営部門

（１）役員会等の開催状況

①理事会（会場：木江保健福祉センター）

・第１回理事会　令和３年６月３日（木）　午後１時３０分～　出席者：９名

報告事項ア　会長の職務の執行状況について

報告事項イ　令和２年度決算監査の報告について

報告事項ウ　第３次地域福祉活動計画の進捗状況について

第１号議案　令和２年度事業報告(案)及び収支決算(案)の承認について

第２号議案　新役員候補者の決定について

第３号議案　令和３年度定時評議員会の招集について

第４号議案　評議員選任・解任委員会委員の選任について

第５号議案　評議員選任・解任委員会の招集について

協議事項　居宅介護支援事業所の経営について

・第２回理事会　令和３年６月２４日（木）　午後１時３０分～　出席者：９名

第６号議案　会長、副会長の選任について

第７号議案　評議員候補者の推薦について

第８号議案　県立広島大学重点研究事業の実施について

・第３回理事会　令和３年１０月１日（金）　午後１時３０分～　出席者：１０名

報告事項ア　法人事業主用クレジットカードの入会の申込（状況）について

報告事項イ　パート職員等の賃金の改定について

報告事項ウ　第４次地域福祉活動計画の策定（状況）について

報告事項エ　地域包括支援センター職員の募集について

第９号議案　職員の再任用に関する要綱の制定について

協議事項　第１０回ふくしのまちづくりのつどいの開催について

・第４回理事会　令和３年１２月２０日（月）　午後１時３０分～　出席者：９名

報告事項ア　令和３年度定期（中間）監査報告について

報告事項イ　パート職員等の賃金の改定について

報告事項ウ　第４次地域福祉活動計画の策定（状況）について

報告事項エ　２４時間テレビ福祉車両寄贈申込の結果について

報告事項オ　正規職員の採用について

第 10 号議案　令和３年度一般会計（第１次）補正予算（案）の承認について

第 11 号議案　令和３年度第２回評議員会の招集について

協議事項　障害児福祉サービスへの助成について

・第５回理事会　令和４年３月１１日（金）　午後１時３０分～　出席者：９名

報告事項ア　会長の職務の執行状況について

報告事項イ　第４次地域福祉活動計画の策定について

第 12 号議案　令和３年度一般会計（第２次）補正予算（案）の承認について

第 13 号議案　令和４年度事業計画（案）及び収支予算（案）の承認について

第 14 号議案　就業規則の一部改正について

第 15 号議案 職場におけるハラスメント防止に関する規程について
第 16 号議案 令和３年度第３回評議員会の招集について

②評議員会（会場：木江保健福祉センター）

・第１回評議員会　令和３年６月２１日（月）　午後１時３０分～　出席者：２０名
報告事項ア　令和２年度決算監査の報告について
報告事項イ　第３次地域福祉活動計画の進捗状況について
第１号議案　令和２年度事業報告(案)及び収支決算(案)の議決について
第２号議案　新役員の選任について

・第２回評議員会　令和３年１２月２４日（金）　午後１時３０分～　出席者：１４名
報告事項ア　令和３年度定期（中間）監査報告について
報告事項イ　第４次地域福祉活動計画の策定（状況）について
第３号議案　令和３年度一般会計（第１次）補正予算（案）の議決について
その他　大崎上島町社会福祉協議会の事業説明

・第３回評議員会　令和４年３月２８日（月）　午後１時３０分～　出席者：２０名
報告事項ア　第４次地域福祉活動計画の策定について
報告事項イ　就業規則の一部改正について
報告事項ウ　職場におけるハラスメントの防止に関する規程について
第４号議案　令和３年度一般会計（第２次）補正予算（案）の議決について
第５号議案　令和４年度事業計画（案）及び収支予算（案）の議決について

③監査会（会場：木江保健福祉センター）

・第１回監査会　令和３年５月２６日（水）　午後１時３０分～　出席者：２名
・令和２年度　決算監査　業務監査並びに会計監査

・第２回監査会　令和３年１１月２９日（月）　午後１時３０分～　出席者：２名
・令和３年度　定期（中間）監査　事業並びに会計監査

④評議員選任・解任委員会（会場：木江保健福祉センター）

・第１回評議員選任・解任委員会　令和３年６月２８日（月）　午後１時３０分～

⑤苦情解決に係る第三者委員会（会場：木江保健福祉センター）

・第１回苦情解決に係る第三者委員会　令和３年７月９日（金）　午後１時３０分～

⑥あったかふくしのまちづくり計画策定委員会（会場：木江保健福祉センター）

・第１回あったかふくしのまちづくり計画策定委員会　書面審議
・第２回あったかふくしのまちづくり計画策定委員会　令和４年１月１１日（火）
・第３回あったかふくしのまちづくり計画策定委員会　書面審議

（２）経理事務・財務管理　関係法令に則り適切に処理を行った。

（３）職員採用や人事・労務管理、研修、能力開発

①職員連絡会議

・職員連絡会議
・連絡調整会議（地域福祉係）　延べ２回開催（７／３０、１１／１７）

②役員・職員研修会

・役員研修　④の役員出張・研修に記載
・役員職員研修会

③役職別、業務・担当別研修会等への参加

・職員研修（職種別研修）　⑤の職員出張・研修に記載

・自主研修　　人権文化講演会　１２月４日（土）　ホール神峰：３名参加

・伝達研修　　自主研修の資料を回覧し、伝達を行った。

④役員出張・研修

月　日	出張・研修内容	出　張　先	担当
12 月 21 日	令和 3 年度 第 1 回市町社協会長会議	広島市　広島県社会福祉会館	有田
1 月 20 日	広島中央地域保健対策協議会委員会及び広島中央地域医療構想調整会議	オンライン	有田
2 月 18 日	令和 3 年度 第 2 回市町社協会長会議	オンライン	有田

⑤職員出張・研修

月　日	出張・研修内容	出　張　先	担当
4 月 16 日	雇用保険手続き	竹原市　ハローワーク竹原	塩飽
5 月 27 日	① 第 2 回成年後見制度ハンドブック作成ワーキング会議	オンライン	波多野
6 月 18 日	令和 3 年度かけはし・法人後見担当者会議	オンライン	波多野
6 月 22 日	令和 3 年度「ひろしま社協活動推進会議」第 1 回地域福祉担当部会	オンライン	波多野
6 月 25 日	令和 3 年度市町被災者生活サポートボラネット運営者会議	オンライン	波多野
7 月 1 日	① 第 3 回 成年後見制度ハンドブック作成ワーキング会議 ② 第 1 回「高齢者・障害者の権利擁護を進めるひろしま社協委員会」	広島市　広島県社会福祉会館	波多野
7 月 26 日	令和 3 年度「地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制推進セミナー」	広島市　広島県健康福祉センター	藤原
8 月 11 日	令和 3 年度「ひろしま社協活動推進会議」第 1 回管理職部会	オンライン	藤原
8 月 19 日	令和 3 年度「ひろしま社協活動推進会議」第 1 回総務経理担当部会	オンライン	塩飽
9 月 1 日、2 日	いきがい・助け合いサミット in 神奈川	オンライン	波多野
9 月 21 日	かけはし新規相談　入院先訪問	竹原市　安田病院	波多野

10 月 7 日	① 第 4 回成年後見制度ハンドブック作成ワーキング会議 ② 第 2 回「高齢者・障害者の権利擁護を進めるひろしま社協委員会」	広島市　広島県社会福祉会館	波多野
10 月 29 日	令和 3 年度キャリア別社協職員研修（事務局長）【第 1 回】	広島市　広島県社会福祉会館	藤原
11 月 12 日	在宅介護者家族会リフレッシュ交流会	今治市　今治城、他	藤原（仁）
11 月 26 日	令和 3 年度キャリア別社協職員研修（事務局長）【第 2 回】	広島市　広島県社会福祉会館	藤原
11 月 29 日	令和 3 年度　広島県生活困窮者自立相談支援事業従事者研修	広島市　広島県社会福祉会館	小松
12 月 1 日	中核機関体制整備に向けた市町研修会	呉市　広島県呉庁舎第 1 庁舎	波多野
12 月 13 日	令和 3 年度総合相談・対応力強化研修	広島市　広島県健康福祉ｾﾝﾀｰ	藤原（仁）
12 月 20 日	令和 3 年度広島県生活困窮者自立支援相談支援事業従事者研修②	広島市　広島県立総合体育館	小松
12 月 21 日	令和 3 年度第 1 回市町社協会長会議	広島市　広島県社会福祉会館	藤原
1 月 17 日	令和 3 年度　広島県生活困窮者自立相談支援事業従事者研修テーマ別研修	オンライン	小松
1 月 20 日	令和 3 年度「ひろしま社協活動推進会議」第 2 回管理職部会	オンライン	藤原
1 月 29 日～2 月 1 日	令和 3 年度成年後見制度利用促進体制整備研修＜基礎研修＞	オンライン	波多野
2 月 4 日	令和 3 年度被災者生活サポートボランティアセンター運営者研修	オンライン	波多野
2 月 18 日	令和 3 年度福祉サービス利用援助事業「かけはし」専門員研修	オンライン	藤原（仁）
2 月 24 日	瀬戸内イキイキプロジェクト　活動報告会	オンライン	藤原（仁）
2 月 25 日	令和 3 年度第 1 回関係機関合同会議	広島市　広島県健康福祉ｾﾝﾀｰ	塩飽
3 月 1 日	令和 3 年度市町社協事務局長会議	オンライン	藤原

（４）法務に関する業務

・資産総額の変更登記　　令和３年６月３０日（水）

（５）保健福祉センター管理受託事業

木江保健福祉センター及び東野保健福祉センターを次のとおり管理受託した。

町の保健事業をはじめ、各種団体の会議や定例会、サロンや子育て支援(きらきらランド)等また、社協ふれあいサービス事業の会場として幅広く使用された。

非常勤パート職員を時間雇用し、センター内部や周辺の施設清掃を行った。

①木江保健福祉センター利用者数

相談室１	診療室	調理室	機能訓練室	和室	合計
442 名	55 名	253 名	1,947 名	538 名	3,235 名

〈2,918名〉

消防署の立入検査　令和３年１１月１１日（木）　結果：良好

消防訓練の実施　　令和３年１１月２４日（水）　参加者：９名

②東野保健福祉センター利用者数

相談室	調理室	保健指導室	機能訓練室	診察室	リラクゼーションルーム	多目的室	合計
1,137名	536名	8,804名	9,390名	729名	4,848名	4,969名	30,413名

〈8,618名〉

消防署の立入検査　令和３年１０月１５日（金）　結果：良好

消防訓練の実施　　令和３年１２月３日（金）　　参加者：３名

（６）第３次地域福祉活動計画の進捗管理及び第４次地域福祉活動計画の策定

平成２８年度に策定した「第３次地域福祉活動計画（平成２９年度～令和３年度）」の最終年であり、計画の進捗状況を総括し、成果・課題を分析、新たに令和４年度からの５か年の次期計画である「第４次地域福祉活動計画（令和４年度～令和８年度）」を策定した。

あったかふくしのまちづくり計画策定委員会　延べ３回（８／１８、１／１１、２／２５）

あったかふくしのまちづくり計画策定ワーキング会議　延べ７回開催（８／２６、１０／６、１０／１４、１０／２５、１１／４、１／１８、１／２４）

（７）県立広島大学との連携

昨年度に引き続き、重点研究事業「地域課題解決研究」へ応募し、提案した研究課題が採択された。本会は研究協力者として、調査研究担当（参加者の調整等）を行った。

今年度予定していた家族への個別インタビュー調査を中止し、昨年度インタビュー調査に協力してくれた大崎上島町で暮らす６５歳以上の高齢者および高齢者を支援する対人援助専門職、さらに新たな人も加えて、ワークショップの開催を案内した。令和４年３月２２日と令和４年３月２５の２日間、ワークショップ形式でグループワークを行い、高齢者（１１名）及び専門職（５名）の声を汲み上げた。昨年度に実施したインタビュー調査の分析結果を報告させていただくと共に、結果報告を踏まえた率直なご意見を参加者から頂戴した。

２．地域福祉活動推進部門

（１）小地域福祉活動推進事業

新型コロナウイルス感染症拡大により、小地域福祉活動推進会議、地域づくり会議の開催ができなかった。

（２）生活支援体制づくり

①生活支援コーディネーターによる地域支え合い活動の充実

②多様な主体が参画する定期的な情報共有・連携強化の場として協議体を設置

「支え合う地域づくり協議体委員会」を年１回開催し、第１層での状況把握等を行った。

③多様な主体による地域支え合い活動の展開

新たに支え合う地域づくり協議体委員会に大崎上島町生活サポートセンターI らんど、ヘルパーステーション Bee‐Hive をメンバーに加え、障害者支援を含め、多様な支援について協議した。

（３）住民、当事者、社会福祉事業関係者の連絡調整

①各関係機関との連携

行政（地域自立支援協議会、わかばの会等）の会議や定例会へ出席し、連携を図った。

②住民組織代表者（区長会、民児協等）への事業説明や会議への参加

地域包括ネットワーク会議に参加し、社会福祉事業関係者と連携を図った。【包括：再掲】

（４）ボランティア活動や地域福祉活動の推進・支援

①新たな人材確保のための地域応援隊（かみじまネット・外出支援・サロン・巡回相談員）きっかけ講座の開催

・赤い羽根ボランティアスクール（障がい児支援）の開催。

＜第１回＞　開催日：令和４年２月９日（水）　①13：30～15：00　②19：00～20：30
内容：講演会「多様な発達とは？」
講師：元山　淳　氏（賀茂精神医療センター　主任児童指導員）

＜第２回＞　開催日：令和４年２月１６日（水）　①13：30～15：00　②19：00～20：30
内容：講演会「多様性と共に　～ 出会いから現在、そして将来へ ～」
講師：松浦　真英　氏（清光寺　住職）

＜第３回＞　開催日：令和４年２月２２日（火）　①13：30～15：00　②19：00～20：30
内容：パネルディスカッション「私たちの願い」
ファシリテーター：松浦　真英　氏（清光寺　住職）
パネリスト：谷口　恵玲奈　氏（社会実験事業　利用者家族）
宮地　丈彦　氏（大崎上島町福祉課　係長）
藤原　金生（本会事務局長）
開催方法：オンライン会議 Zoom
収録場所：社協本所機能訓練室及び清光寺
参加者：①２名　②１２名（昼・夜３回シリーズで開催）

・運転協力員育成事業（福祉有償運転者講習会）

＜第１回＞　開催日：令和３年５月２２、２９日　　参加者：０名
＜第２回＞　開催日：令和３年９月４日～９月５日　　参加者：０名

②既存の地域応援隊のための活動別交流研修会、合同研修会の開催

・外出支援・かみじまネット合同研修会

開催日：令和３年１２月１７日　　場所：木江保健福祉センター　　参加者：３３名

・サロン協力員連絡会

新型コロナウイルス感染拡大の防止の観点から、３日に分けて開催した。

開催日：木江　令和４年２月　７日　　場所：木江保健福祉センター　　参加者：　９名
東野　令和４年２月　８日　　場所：木江保健福祉センター　　参加者：　６名
大崎　令和４年２月１０日　　場所：木江保健福祉センター　　参加者：１０名

③大崎上島町被災者生活サポートボラネット推進事業

推進会議を７月に開催し、令和３年７月豪雨の県内の対応、IT を活用した災害支援について協議し、事務局マニュアルの改訂に取り組んだ。運営者研修会については、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、実施できなかった。

④ボランティアグループへの支援

・レッドレディースへの助成

（５）ふれあいいきいきサロン等の活動支援

①ふれあいサロン事業

誰もが気軽に立ち寄れる場として、閉じこもりの予防や認知症予防のためのプログラム等を利用者と協力者とで実施した。概ね、各会場で月１回～２回開催した。

・地区サロン開催状況

	サロン名	実　施　場　所	回数	協力者数	参加者数
【木　江】	岩白サロン	岩白会館	9	37	67
	宇浜サロン	宇浜地区集会所	7	22	101
	郷サロン	木江会館	5	24	118
	天満サロン	天満会館	9	50	94
	野賀サロン	天寿会館 木江保健福祉センター	8	65	86
	木江サロン	木江保健福祉センター	1	3	44
	上の谷サロン	上の谷会館	7	28	38
	沖浦サロン	沖浦漁村センター	17	66	138
	中浜サロン	沖浦漁村センター	0	0	0
	明石サロン	明石会館	21	57	199
【東　野】	外表サロン	外表集会所	11	35	172
	鮴崎サロン	鮴崎集会所	14	14	180
	垂水サロン	垂水集会所	0	0	0
	古江サロン	古江集会所	0	0	0
	小原サロン	小原集会所	6	30	75
	矢弓サロン	矢弓集会所	1	5	10
	大田サロン	大田集会所	7	13	64
【大崎】	山尻サロン	山尻集会所	11	0	112
	東原下サロン	東原下集会所	3	13	56
	原下サロン	原下集会所	5	25	164
	片浜サロン	片浜集会所	3	17	62
	本郷サロン	本郷集会所	6	29	68
	向山サロン	ふれあいホール	4	4	40

	大西サロン	大西集会所	4	27	86
	原田サロン	西野公民館	6	29	132
	大串サロン	大串集会所	7	32	129
合　　計			170	625	2,123

〈180回　629名　2,313名〉

②よってみんさい屋（小地域型サロン）事業

空き家を利用し、地域協力員が主体となり「おしゃべりがごちそう」を目的に小地域サロンを開催した。

開催回数　よってみんさい屋中野　３０回　毎週火曜日開催
　　よってみんさい屋大串　６１回　毎週火・金曜日開催
スタッフ　延べ　２９５名（中野：７２名・大串：２２３名）
利 用 者　延べ１，０２０名（中野：３５５名・大串：６６５名）
内　　容　・在宅看護師による健康相談（月１回）
　　・円山忠信先生による健康セミナー（年９回）
　　・作品展示、絵手紙　・砂かけ地蔵まつり
　　・作品づくり、展示（大崎郵便局など）　・園児との定期交流会
　　・定期食事会（第１火曜日 カレーの日）　・音楽　など

（６）住民参画型在宅福祉サービス「かみじまネット」事業の充実

かみじまネット事業

暮らしの中でちょっとした困りごとのある人（利用者）と、ちょっとしたことならお手伝いができる人（協力者）が支え合い、助けあう互助活動を行った。

利用内訳と総数

活　動　内　容	利　用　回　数
通院の付き添い	100回〈123回〉
掃除の手伝い	4回〈　2回〉
その他（衣類・部屋の整理、外出の付き添いなど）	10回〈 10回〉
合　　計	114回〈135回〉

登録協力員： 74 名　〈80 名〉

（７）小地域のお茶の間づくり事業

小地域における常設的なふれあいサロンを活動拠点とし、見守りや生活課題に気づき対応することができる『地域のお茶の間』を他地区の開催に向けて取り組んだ。

（８）福祉教育・啓発活動

①広報活動

・社協だより発行（№216～№227）

地域福祉活動を中心とした事業の普及啓発を図るため、毎月社協だよりを発刊し、広報活動を行った。また、各事業においては随時案内を行い、住民への啓発に努めた。

・ホームページ（http://www.syakyo.net/）

大崎上島町社会福祉協議会のホームページにて、事業概要や社協だより（ＰＤＦファイ

ル）を掲載し、町内および町外へ発信を行った。

②第１０回「大崎上島町ふくしのまちづくりのつどい」　開催事業

大崎上島町・大崎上島町老人クラブ連合会との共催により実施した。

開催日　　令和３年１１月３日（水）１３：３０～１５：３０

場　所　　大崎上島文化センター　ホール神峰

内　容　　・第１部　式　典　　感謝状贈呈（対象者：１９名）

・第２部　講演及びパネルディスカッション

・①講師：広島県社会福祉協議会　地域福祉課　主任　藤岡　忍　氏

パネラー：盛谷区長　谷川　正芳　様

野賀区長　福本　眞由美　様

原田区民生委員　末田　初美　様

②演題：「この島の支えあい、助けあい、つながりあいを紡ぎ続けるために」

③時間　９０分

③地域リーダー研修会

開催日　　令和３年７月１６日（金）１８：３０～２０：００

場　所　　大崎上島文化センター　ホール神峰

内　容　　１）講演

①講師：広島県社会福祉協議会　地域福祉課　主任　藤岡　忍　氏

②演題：「 今だから　ともに　見守り支え合い 」

～　わが島（まち）の互近助活動のススメ　～

③講演時間　５０分

２）説明

福祉委員について　地域福祉係　波多野

会員会費の募集について　総務経理係　塩飽

④福祉協力指定校事業（共同募金配分事業）

認定こども園ひかりえん、大崎上島幼稚園、大崎小学校、東野小学校、木江小学校、大崎上島中学校、大崎海星高等学校、広島叡智学園中学校の８校を「社会福祉協力校」に指定し、地域の高齢者・障害者の方々との交流や、ボランティア活動など、地域の特性を活かした福祉活動へ助成を行ったが、各校新型コロナウイルス感染症拡大防止から、活動を縮小や中止されていたところもあり、助成金の返金もあった。

（９）当事者組織・団体、社会福祉関係団体の支援

①老人クラブの育成援助

・大崎上島町老人クラブ連合会事務局

・単位老人クラブの育成支援

【介護予防健康増進事業】

ア）高齢者スポーツ大会（新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）

イ）グラウンド・ゴルフ大会（新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）

・第２４回グラウンド・ゴルフ大会

開催日　　令和３年１２月８日(水)

開催場所　　シーパーク大串

参加人数　　９０名（＊今回の大会は、コロナウイルスの感染防止対策として、
１単位老人クラブから１チーム以内の参加とした）

ウ）野外研修活動事業（新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）

エ）高齢者総合教室（新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）

【地域活動研修会】

ア）東野地区地域活動研修会（新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）

イ）木江地区地域活動研修会（新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）

ウ）大崎地区地域活動

内　容　　平和塔清掃活動

参加者　　延べ　１６８名

実施期間　令和３年４月～令和４年３月

②障害者団体の育成援助

・大崎上島町身体障害者福祉協議会事務局

・障害者スポーツ大会の開催（新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）

・わかばの会活動支援

③大崎上島町遺族会連合会事務局

④日本赤十字社事業への協力

・日本赤十字社広島県支部大崎上島町分区事務局

ア）出張・研修

月　日	出張・研修内容	出　張　先	担当
10 月 26 日	令和３年度 第 1 回日本赤十字社広島県支部地区本部・地区・分区担当者会議	オンライン	藤原 (仁)
2 月 24 日	令和３年度 第 2 回日本赤十字社広島県支部地区本部・地区・分区担当者会議	オンライン	藤原 (仁)

イ）日本赤十字社　活動資金募集活動

赤十字運動月間５月（新型コロナウイルス感染拡大に伴い、募集期間５月～６月）

地　区	活動資金実績額(円)
木江地区	３９７，５００円　〈４３７，０００円〉
東野地区	３８７，５００円　〈４２２，５００円〉
大崎地区	７０１，０００円　〈７１６，５００円〉
合　計	１，５１７，０００円〈１，５７６，０００円〉

⑤共同募金運動への協力

・大崎上島町共同募金委員会事務局

ア）出張・研修

月　日	出張・研修内容	出　張　先	担当
6 月 14 日	広島県共同募金会　第 184 回評議員会	オンライン	藤原
8 月 27 日	令和 3 年度 共同募金委員会業務	オンライン	藤原

	推進会議		（仁）
3月7日	広島県共同募金会 令和3年度第185回評議員会	オンライン	藤原

イ）共同募金実績（募金運動月間：１０月１日～３月３１日）

募金種類	実績額
戸別募金	１，４７６，５００円〈１，５３４，５００円〉
法人・事業所募金	５７４，０００円〈５９６，０００円〉
学校募金	１０８，４５１円〈９２，６６１円〉
職域募金	３１７，８００円〈２７４，８００円〉
店頭募金	１４７，０９９円〈８５，６９２円〉
合計	２，６２３，８５０円〈２，５８３，６５３円〉

（10）地域包括支援センターの受託経営【包括：再掲】

（11）地域福祉財源の造成、助成事業

①会員会費の募集状況

（木江地区）

会員別	加入者数(名)	会費収入額（円）
一般	702〈742〉	702,000〈 742,000〉
賛助	116〈120〉	348,000〈 360,000〉
合計	818〈862〉	1,050,000〈1,102 ,000〉

（大崎地区）

会員別	加入者数(名)	会費収入額（円）
一般	1,264〈1,292〉	1,264,000〈1,292,000〉
賛助	101〈 97〉	317,000（ 308,000）
合計	1,365〈1,389〉	1,581,000〈1,600,000〉

（東野地区）

会員別	加入者数(名)	会費収入額（円）
一般	703〈705〉	703,000〈 705,000〉
賛助	143〈148〉	488,000〈 503,000〉
合計	846〈853〉	1,191,000〈1,208,000〉

（合　計）

会員別	加入者数(名)	会費収入額（円）
一般	2,669〈2,739〉	2,669,000〈2,739,000〉
賛助	360〈 365〉	1,153,000〈1,171,000〉
合計	3,029〈3,104〉	3,822,000〈3,910,000〉

②寄付金受納状況

寄付種別	寄付件数（件）	寄付受納額（円）
香典返し	36〈 58〉	1,337,000〈2,220,000〉
生前のお礼	68〈 54〉	1,925,000〈1,595,000〉

一 般 寄 付	37〈 35〉	538,000〈 532,243〉
合　計	141〈147〉	3,800,000〈4,347,243〉

３．福祉サービス利用支援部門

（１）地域総合相談（くらしの相談会開催）事業

・地域に出向き行う地域包括支援センターと合同でくらしの相談会を開催した。

（２）権利擁護事業

①法人後見事業

成年後見制度の仕組み理解や、行政、家庭裁判所呉支部との連携強化のために、家庭裁判所主催の研修会、会議へ出席した。

②日常生活自立支援事業（福祉サービス利用援助事業「かけはし」）

認知症高齢者、知的障害者、精神障害者などで判断能力が不十分な人などを対象に、福祉サービスや日常生活のさまざまな契約の手続き、日常的な金銭管理や預金通帳の預かりなどの支援を行った。

ア 支援回数

月	利用登録者	生活支援員支援回数	職員対応支援回数	計
4	25 名	3 回	84 回	87 回
5	25 名	3 回	94 回	97 回
6	25 名	3 回	64 回	67 回
7	26 名	2 回	70 回	72 回
8	25 名	2 回	90 回	92 回
9	25 名	2 回	70 回	72 回
10	25 名	2 回	77 回	79 回
11	25 名	2 回	71 回	73 回
12	26 名	2 回	67 回	69 回
1	26 名	2 回	78 回	80 回
2	26 名	2 回	69 回	71 回
3	26 名	2 回	66 回	68 回
計	305 名	27 回	900 回	927 回

イ 新規利用契約締結者数　３名〈８〉

ウ 利用終了者数　２名〈２〉

（３）資金貸付事業

①生活福祉資金貸付事業　貸付件数　19件〈11〉

貸付金額（償還金残高）　5,445,000円〈3,065,000円〉

※すべて新型コロナ特例貸付による貸付

②高額療養費貸付事業　貸付件数　2 件〈1〉

③民生資金貸付事業　貸付件数　6 件〈3〉

貸付金額　210,000 円〈96,000 円〉

償還金残高　70,000 円〈81,000 円〉

滞納件数　　１件　　滞納金額 45,000 円〈45,000 円〉

（４）災害見舞金支給事業

・該当なし

（５）緊急用食料品等給付事業

・2 件

４．在宅福祉活動推進部門

（１）居宅介護支援事業（大崎上島町社協居宅介護支援事業所）

①ケアプランの作成

介護を必要とされる方が、自宅で適切にサービスを利用できるように、ケアマネジャー（介護支援専門員：２名配置）が心身の状況や生活環境、本人・家族の希望に沿って、ケアプラン（居宅サービス計画）を作成し、ケアプランに位置付けたサービスを提供する事業所等との連絡・調整などを行った。

また、プランによるサービス実施状況の把握、サービス提供効果の評価などを行い、その状況を保険者（国保連）に報告し、介護保険料の請求を行った。

ケアプラン作成数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
56	49	52	52	54	55	54	57	61	58	55	55	658

②介護認定訪問調査

要介護認定申請（新規を除く。）に伴う要介護認定調査を町から受託し、申請者の状態を把握するため「能力」「介助の方法」「障害や現象（行動）の有無」について訪問し、調査を行った。

介護認定調査実績

依頼元	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
大崎上島町	4	10	5	6	5	8	6	3	8	4	6	4	69
その他市町村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

③出張・研修

担当している利用者の入院先や入所先と入退院や在宅復帰を円滑に行うために入退院前・退所前カンファレンスへ参加した。また、利用者により良い介護支援サービスの提供が行えるよう、専門職としての知識や質を向上させるために介護保険制度や居宅介護支援に係る研修へ参加した。

月　日	出張・研修内容	出　張　先	担当
9月8日	受診同行	呉市　中国労災病院	泉
9月27日	退院支援	呉市　中国労災病院	泉

10 月 1 日	退院前カンファレンス	竹原市　介護老人保健施設 まお	金原
10 月 12 日	退院前カンファレンス	東広島市　安芸津病院	金原
11 月 12 日	在宅介護者家族会リフレッシュ交流会	今治市　今治城、他	泉
2 月 17 日	ひろしま社協活動推進会議 令和 3 年度第 1 回介護保険担当部会	オンライン	泉

④サービス担当者会議

利用者ごとに介護支援専門員はケアプラン原案を作成し、サービス調整を行った後、利用者や利用者家族、提供されるサービス事業者の担当者を集めてケアプランの内容を検討する会議を開催した。このサービス担当者会議は、利用者の状態像の変化などによる、ケアプランを変更する際にも開催した。

⑤介護サービス情報の公表

介護サービスを行っている事業者に対して介護サービス情報の公表が義務付けられている。この制度は、介護サービス事業者が自らの責任において介護サービス情報を県に報告し、報告された情報を県が公表することにより、利用者やその家族などが公表された情報を活用して、自ら介護サービス事業者を適正に選択することができるように支援するための仕組みとして介護保険法に定められており、公表制度を通じ介護サービス事業者が利用者の支持を得られるよう、サービスの質の改善への取り組み、サービス全体の質の向上を図ることを目的に本会事業所の情報も公表した。

（２）介護者家族会の支援

介護を担う家族が月に 1 回のペースで集まり、家族としての思いや悩みを共有したり、日頃の在宅介護の状況を話したり、知識や知恵、あるいは地域の様々な情報を交換することで、介護に向かうエネルギーを得る地域の介護仲間同士の支え合いの場となるよう開催を支援した。

活動報告

月　日	内　　容	場　　所	参加者
4 月 9 日	令和２年度報告、３年度活動計画	大崎すまいるーむ	8 名
5 月 14 日	コロナウイルス感染防止の為中止		
6 月 11 日	コロナウイルス感染防止の為中止		
7 月 9 日	災害時の避難行動について	大崎すまいるーむ	4 名
8 月 6 日	今までの介護を振り返って	大崎すまいるーむ	3 名
9 月 10 日	コロナウイルス感染防止の為中止		
10 月 8 日	在宅ケア・在宅見取りを考える	大崎すまいるーむ	6 名
11 月 12 日	リフレッシュ交流会	今治城	9 名
12 月 10 日	交流会の振り返りについて	大崎すまいるーむ	6 名
1 月 14 日	コロナウイルス感染防止の為中止		
2 月 18 日	コロナウイルス感染防止の為中止		

3月 11日	令和４年度活動について	大崎すまいるーむ	４名

（３）社協ふれあいサービス事業

閉じこもり予防を目的とし、介護保険非該当者（自立高齢者）を対象に「できるだけ自分のことは自分で」の自立生活の助長を目的とした介護予防事業を実施した。

実施場所：東野保健福祉センター　　利用申請（登録）者：４０名

サービス内容及び参加延人数

内　　容	人 数 （ 名 ）
健康チェック	１，５６６名　〈１，６１５〉
生 活 指 導	１，５６６名　〈１，６１５〉
昼　　食	１，４６８名　〈１，６１５〉
送　　迎	１，５６１名　〈１，６１８〉

主な行事及び企画行事

実施月	行事・グループワーク	作品づくり	介護予防活動
４月	お花見（ドライブ） 前年度の健康管理表　配布	カレンダー作り （折り紙で筍としょうぶ）	
５月			
６月	輪投げ（今風）		
７月	ポケットボール	俳句かざり	熱中症について
８月	バッゴーゲーム		
９月	バッゴーゲーム	カレンダー作り （折り紙　ハートで鶴）	しりとりスケルトン
10月	スロービーゲーム		唱歌カルタ 脳トレ　数字あてクイズ
11月	ミニうんどう会		コロナウイルスについて
12月	クリスマス会 （折り紙でサンタクロース作りなど）	クリスマスツリーのお花作り、顔写真入りサンタの切り取り	インフルエンザ予防について ヒートショックに注意
１月	スカットボール	折り紙で雪だるま作り	
２月	バッゴーゲーム	お雛さま作り	

３月	ポケネット		

（４）生野島出前ミニデイサービス事業

離島、超高齢者地域のため、地域住民主体でのサロン開催は難しく、調理員兼送迎員、保健指導員の派遣によりミニデイサービス事業を開催した。

対　象　者　　生野島地区在住の高齢者
場　　所　　生野島老人集会所
回　　数　　１８回　　〈１９回〉
参加者延数　　５２名　　〈５８名〉

（５）認知症高齢者デイサービス「夢ハウス」事業

空き家を利用して、小人数で昔ながらの遊びや行事を取り入れながら、認知症高齢者のコミュニティケア事業を行った。

実施月	利用者数	開催日数	備考（活動）
4　月	31　名	8　日	島内桜ドライブ　お花見弁当作り（おはぎなど）散歩 体操　歌　わっか作り　誕生日会　縫い物 清水観音参拝　清風館しあわせの鐘　談話など
5　月	5　名	1　日	散歩　歌　談話など （12 日よりコロナウイルス感染症拡大防止のため中止）
6　月	12　名	4　日	散歩　七夕飾り作り　歌　お菓子作りなど
7　月	26　名	8　日	ドライブ　散歩　七夕飾り作り　体操　歌　塗り絵 流しそうめん　コースター作りなど
8　月	21　名	6　日	散歩　体操　歌　書写　誕生日会　ぬり絵　おはぎ作り おにぎり作り　コースター作りなど
9　月	22　名	8　日	ドライブ　散歩　歌　習字　敬老会祝い　談話など
10　月	27　名	8　日	散歩　歌　ぬり絵　おやつ作り　談話など
11　月	30　名	8　日	神峰山・清風館紅葉ドライブ　散歩　歌　ぬり絵など
12　月	28　名	8　日	散歩　歌　餅つき　おやつ作り　クリスマス会　ぬり絵 小池造船進水式　掃除　お抹茶立てるなど
1　月	3　名	1　日	庚申堂・八幡神社初詣　歌　談話など （12 日よりコロナウイルス感染症まん延防止のため中止
2　月	0　名	0　日	コロナウイルス感染症まん延防止のため中止
3　月	23　名	7　日	初詣　長島ドライブ　散歩　歌　ぬり絵　おやつ作り 干し大根作り　談話など
合計	228　名	67　日	

〈 331名　　86日〉

（６）外出支援サービス事業

令和３年度　外出支援延日数：５５９日

外出支援協力員登録者数：５４名（令和４年３月３１日現在）

利用実績

介護保険該当者や障害者（行政に利用申請、許可が必要）の通院の送迎を行った。

区　　分	延　回　数
通院（町内）	1,632 回〈1,623〉
通院（町外）	434 回〈　442〉
合　　計	2,066 回〈2,065〉

（７）高齢者巡回相談員派遣事業

大崎上島町に在住する７０歳以上のひとり暮らし、または高齢者のみの世帯及びこれに準ずる世帯で、日常生活上の援助が必要な世帯に対して、高齢者巡回相談員（４５名を配置）が訪問活動を行った。

①高齢者世帯等訪問活動実績（概ね週１回訪問）

地　区　名	ひとり暮らし世帯 訪問延回数	ふたり暮らし世帯 訪問延回数
木江地区	8,379　回〈8,712 回〉	4,560　回〈　5,037 回〉
大崎地区	7,623　回〈8,093 回〉	4,209　回〈　4,662 回〉
東野地区	6,186　回〈6,517 回〉	4,223　回〈　4,556 回〉
合　　計	22,188　回〈23,322 回〉	12,992　回〈14,255 回〉

②高齢者巡回相談員連絡会

・高齢者巡回相談員研修会

（第１回）新型コロナウイルス感染拡大の防止の観点から、３日に分けて開催した。

開催日：令和４年３月１５日　場所：木江保健福祉センター　参加者：１４名
令和４年３月１６日　場所：東野保健福祉センター　参加者：　８名
令和４年３月１７日　場所：大崎老人福祉センター　参加者：１３名

③区長・民生委員・高齢者巡回相談員合同研修会

＜大崎地区＞　日時：令和３年１０月１８日(月)　１３：３０～１５：３０
場所：大崎上島開発総合センター　大会議室

＜東野地区＞　日時：令和３年１０月１９日(火)　１４：１５～１６：１５
場所：東野文化センター　大ホール

＜木江地区＞　日時：令和３年１０月２１日(木)　１３：３０～１５：３０
場所：木江保健福祉センター　機能訓練室

＜内容＞　町内の高齢者世帯、障害者世帯の支援を行う介護支援専門員等の相談援助職のアンケート調査をもとに、地域とのかかわりについてグループ協議を行い、顔の見える関係の構築や、連携の取り方について話し合った。

④緊急連絡カードの作成、設置

利用者世帯ごとに利用者の同意を得、緊急時の連絡先やかかりつけ医などを記入した緊急連絡カードを作成し、世帯に配布するとともに事務局にて保管。緊急時には情報を提供できるよう整備を行った。

⑤避難行動要支援者支援制度に基づく避難行動要支援者リストの更新支援

（８）介護予防（健康教室開催）事業

① 健康体操教室　　延回数：２７回　　延人数：６９４名

② ストレッチ大崎教室　　延回数：２７回　　延人数：５５９名

③ ストレッチ木江教室　　延回数：２４回　　延人数：２９０名

（９）福祉機器貸出事業

在宅介護者への介護器具貸出状況

介護器具名	所有台数	貸出延件数	介護器具名	所有台数	貸出延件数
電動ベッド	32	17	シャワーチェアー	6	4
車椅子	33	46	バスグリップ	2	1
床ずれ予防マット	5	2	ハンディスロープ	4	6
歩行補助器	4	3	チャイルドシート	12	6
ポータブルトイレ	8	10	ジュニアシート	10	0
ロンボケアーマット	4	1	松葉杖	1	3
ストレッチャー	1	0	福祉車両	11	119
浴そう台	4	1	合　計		219

(10) 生きがい活動（健康増進）事業

①認知症予防教室「音楽とぬり絵を楽しむ会」

開催回数：７回（毎月第３木曜日）

参加者延数：６７名〈６７名〉

開催場所：木江保健福祉センター

内　　容：ラジオ体操、音読、計算、書き取り、歌、ぬり絵。

②卓球教室　　延回数：２５回　　延人数：９７名

(11) 生活困窮者自立相談支援事業（くらしの相談支援室）

経済的自立を目的とし複合的な課題に向き合いその人なりの自立をめざし、自己肯定感や自尊感情を確保できるよう寄り添った支援に務めた。

① くらしの相談会　第１火曜日・年８回開催

（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、３回中止）

② くらしの相談室【重層的】　令和３年５月１１日

大崎上島町生活サポートセンターＩらんど合同開催

③ 令和３年度　新規相談受付件数と継続支援回数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規	1	0	2	2	0	1	0	0	0	3	1	0	10
継続	10	7	12	33	11	5	4	7	14	24	23	10	160

５．その他

（１）フェリー乗船券取り扱い事業

①木江本所取り扱い数

	種　別	枚　数	取　扱　額	備　考

竹　原	４ｍ未満	9,893　枚	15,729,870　円	
	５ｍ未満	3,429　枚	7,338,060　円	
安芸津	４ｍ未満	2,060　枚	3,275,400　円	
	５ｍ未満	403　枚	862,420　円	
合　計		15,785　枚	27,205,750　円	

※原資　　536,000 円

※令和４年３月３１日　現金（預り金）　348,080 円

②大崎支所取り扱い数

	種　別	枚　数	取　扱　額	備　考
竹　原	４ｍ未満	36,474　枚	57,993,660　円	
	５ｍ未満	11,586　枚	24,794,040　円	
安芸津	４ｍ未満	14,761　枚	23,469,990　円	
	５ｍ未満	4,204　枚	8,996,560　円	
合　計		64,074　枚	110,140,310　円	

※原資　　1,000,000 円

※令和４年３月３１日　現金（預り金）　660,830 円

※令和３年度　取扱金額　137,346,060 円

〈令和２年度　取扱金額　137,262,140 円〉

令和３年度　大崎上島町地域包括支援センター　事業報告

事業の目的

高齢者の多様なニーズや相談を総合的に受け止め、要介護（支援）状態とならないよう予防に努めた。また、要介護状態等や認知症になっても住み慣れた環境の下で、可能な限り、自立した日常生活が継続できるように取り組んだ。

また、コロナ禍において生活が不活発な状態になり、心身機能が低下する恐れがあることを課題として取り上げ、日頃からの介護予防の重要性を啓発し、孤立を防止し、適切なサービス等社会資源へ繋がれることを重点目標に取り組みを行った。

テーマ	実施方法	実施回数
介護予防の重要性の啓発（フレイル予防について）	社協だよりによる広報	４回
	いきいき百歳体操実施会場に出向いて啓発	２３回
	ふれあいサロン実施会場に出向いて啓発	２回

基本事業

１．包括的支援事業

（１）総合相談支援事業

①来所、電話、訪問等による様々な相談に応じ、適切な機関や制度及びサービスにつなぎ、継続的にフォローを行った。高齢者をはじめ、障害者、地域住民からの相談に対し、専門性を生かし、課題解決に向けて取り組んだ。

【相談実績（相談形態別）】

電話・メール	来所	訪問	その他	計
211	65	4	20	300

（令和２年度相談件数計　373 件）

【相談実績（相談者区別）】

本人	家族	知人	関係機関	その他	計
16	109	19	151	5	300

【相談実績（相談内容区分別）】

介護・日常生活に関する相談	サービス利用に関する相談	医療に関する相談	所得・家庭生活に関する相談	その他	苦情相談	権利擁護に関する相談	計
117	224	21	4	3	0	4	373

【対応実績】

相談	情報提供	連絡・調整	家庭訪問	取次・斡旋	申請（代行）	確認・聞取り	実態把握	その他	計
144	225	328	318	50	200	128	120	13	1,526

②高齢者の見守り活動を実施している関係機関との連携

大崎上島町民生委員児童委員協議会定例会（４月８日）にて、包括支援センターの活動と役割について説明を行った。

③地域の高齢者の実態把握と相談支援

相談対象者への実態把握・支援を行ったほか、生野島区住民（7 件）に対して実態把握を実施した。

④社協だより等を活用した業務内容等の広報活動

町民全体への啓発として、社協が毎月発行する「社協だより」へ包括支援センターのページを設け、広報活動に努めた。

（２）権利擁護事業

①成年後見制度の活用促進

②老人福祉施設等への措置の支援

③高齢者虐待への対応

④困難事例への対応

⑤消費者被害の防止及び対応

⑥専門機関（司法書士会、社会福祉士会等）との連携強化

（３）包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

①関係機関との連携強化を図る地域包括支援ネットワーク会議の開催

保健、福祉の専門職を中心に、地域課題の共有、事例検討、情報交換等、地域包括支援ネットワーク会議を開催した。

参画メンバー

地域包括ケア会議：保健衛生課、福祉課、ふれあい工房、生活サポートセンターＩランド、サポートおおさき、在宅介護支援センターおおさき、在宅介護支援センターみゆき、訪問看護ステーションおおさき、大崎上島町社会福祉協議会、大崎上島町社協居宅介護支援事業所

開催日	内　　容	参加者
4 月 14 日	徘徊 SOS ネットワーク事業について、事業計画、情報交換	13 名
8 月 4 日	事例検討、情報交換	15 名
11 月 10 日	虐待研修・事例検討、情報交換	13 名

※コロナウイルス感染拡大防止のため、2 月は中止した。

②地域包括・在宅介護支援センター情報交換会　月１回実施

③介護支援専門員の資質向上を目的とした事例検討会等の開催

④介護支援専門員への相談指導及び連携強化

（４）第１号介護予防支援事業（介護予防ケアマネジメント）

個々の利用者に応じた総合的かつ効果的なケアマネジメントを作成するとともに、サービス提供においても、住民主体の通いの場等の活用を推進する。また、町福祉課が実施する通所型サービスＣ（短期集中リハビリ教室）の参加を希望された方を対象に、基本チェックリストを実施し、サービス利用該当者へは介護予防サービス計画を作成した。

【介護予防ケアマネジメント件数】

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
継続	51	49	43	44	41	53	53	62	55	54	52	49	606
新規	1	0	1	2	10	2	5	7	1	1	1	2	33

【通所型サービスＣ（短期集中予防サービス）事業期間】

	期　間	日　時	回数（コース）	参加者数
第１期	６月 28 日～ ９月７日	毎週火曜	12 回	５人
第２期	10 月 26 日～ ２月 ８日	毎週火曜	14 回	４人

生活機能向上リハビリ教室に関する自立支援型地域ケア個別会議　5月20日,5月24日

生活機能向上リハビリ教室の評価会議（前期）　９月 14 日

生活機能向上リハビリ教室の評価会議（後期）　３月１日

２．多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築

（１）地域包括支援ネットワークの構築

地域包括支援ネットワーク会議開催のほか、社会福祉協議会が主催する小地域福祉活動推進事業推進会議に参画する予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大により、小地域福祉活動推進会議は開催できなかった。

（２）市町村圏域を超えたネットワークの構築

広島中央認知症疾患医療センターが担当する広島中央地区認知症医療連携協議会に参画し、情報共有等行い、連携体制強化に努めた。

３．地域ケア会議の開催

（１）地域ケア個別会議

介護支援専門員が抱える困難事例や包括支援センターが把握した個別の困難ケースに対して、多職種・地域住民協働による地域ケア会議を随時開催し、地域支援ネットワークの構築に努めた。※包括支援センター主催会議は★印

月　日	場　　所	参加者数	内　　容	備　　考
５月 20 日	役場木江支所	８名	自立支援型地域ケア個別会議生活機能向上リハビリ教室（３ケース）	みゆき、在宅看護師、歯科衛生士、役場(保健衛生課、福祉課)、包括
５月 24 日	役場木江支所	８名	自立支援型地域ケア個別会議生活機能向上リハビリ教室（３ケース）	みゆき、在宅看護師、歯科衛生士、役場(保健衛生課、福祉課)、包括
★ 12 月 15 日	木江保健福祉センター	12 名	事例の情報共有・対応について	役場(保健衛生課、福祉課)、民生委員、福祉関係事業所、包括
★ １月 18 日	大崎支所	７名	事例の情報共有・対応について	役場(福祉課)、民生委員、巡回相談員、福祉関係事業所、包括

（２）地域ケア推進会議

「地域ケア推進会議」にて、地域づくり・資源開発及び政策の形成が図れるよう取り組んだ。

４．指定介護予防支援業務

介護保険制度における要介護認定軽度者（支援 1,2）が、可能な限り居宅において自立した生活ができるよう、利用者の心身の状態、環境に応じ、自己選択、自己決定に基づいた介護予防サービス計画を作成した。業務を委託している居宅介護支援事業所には介護予防サービス計画作成の確認をした。

【介護予防サービス計画作成】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
継続	66	64	70	67	69	51	63	75	65	68	65	63	786
新規	1	4	2	4	0	2	0	5	0	3	1	3	25

５．介護予防の推進

地域住民の集まる場を積極的に活用し、予防重視型システムの考え方のもと、介護予防等の普及啓発に取り組んだ。

（１）介護予防学習会（会場：ふれあいサロン）

月　日	会　　場　／　内　　容	担当者	参加人数
10 月 15 日	明石サロン（明石会館）／介護保険制度・介護予防について	森下	11 人
10 月 27 日	沖浦サロン（沖浦漁村センター）／介護予防について	墨田高	9 人

（２）地域づくりによる介護予防支援事業「いきいき百歳体操」への協力

住み慣れた地域で暮らし続けるための筋力を維持向上する「いきいき百歳体操」の推進に対しての協力を行った。

月　日	地区	会場	内　　容	参加者数	備考
4月15日	木越区	木越会館	体力測定・6か月支援その①	12 名	墨田高
4月20日	原下区	原下集会所	フレイル予防について・他	38 名	川上・森下
4月22日	木越区	木越会館	6か月支援その②	13 名	墨田高
4月27日	古江区	古江老人集会所	フレイル予防について	18 名	森下
5月8日	矢弓区	矢弓老人集会所	フレイル予防について	10 名	森下
7月12日	脇之浦区	脇之浦集いの館	１２か月支援①	5 名	森下
7月19日	脇之浦区	脇之浦集いの館	１２か月支援②	7 名	森下
7月21日	向山区	向山老人集会所	フレイル予防について	16 名	川上
7月8日	砂里浜区	沖浦農業開発センター	フレイル予防について・県からのアンケート	18 名	墨田高
7月15日	天満区	天満会館	フレイル予防について・県からのアンケート	10 名	墨田高
8月3日	垂水区	垂水老人集会所	フレイル予防について	12 名	森下
8月5日	大西区	大西集会所	フレイル予防について	18 名	川上
8月10日	宇浜区	宇浜老人集会所	フレイル予防について	16 名	墨田高
8月23日	鮴崎区	鮴崎老人集会所	フレイル予防について	16 名	森下

8月26日	岩白区	岩白老人集会所	フレイル予防について	10名	墨田高
9月13日	片浜区	片浜老人集会所	フレイル予防について	11名	川上
9月18日	外表区	外表区伝承館	フレイル予防について	11名	森下
9月21日	本郷区	本郷老人集会所	フレイル予防について	6名	川上
10月8日	山尻区	山尻老人集会所	初回支援・体力測定	6名	川上
10月9日	明石合同	明石会館	フレイル予防について	24名	墨田高
10月19日	原田区	西野公民館	フレイル予防について	15名	川上
10月22日	山尻区	山尻老人集会所	初回支援・体力測定結果指導	7名	森下
10月28日	木越区	木越会館	12か月支援	9名	墨田高
11月9日	野賀区	木江保健福祉センター	フレイル予防について	12名	墨田高
11月16日	瀬井区	瀬井集会所	フレイル予防について	7名	川上
12月2日	盛谷区	盛谷老人集会所	フレイル予防について	23名	森下
12月4日	大田区	大田老人集会所	フレイル予防について	7名	森下
12月9日	大串区	大串老人集会所	フレイル予防について	10名	墨田高
12月16日	東原下	東原下集会所	フレイル予防について	6名	川上
12月18日	上組下組	上組老人集会所	フレイル予防について	12名	森下

（合計）　開催数 30回　参加者数名 385名

６．町が取り組む事業との連携

（１）在宅医療・介護連携の推進

（２）認知症施策の推進

①認知症初期集中支援チーム員会議

認知症が疑われる方や、認知症の方及びそのご家族で、介護サービスや医療サービスを受けてない方に対し、本人または家族の同意を得て、専門チームが訪問し、初期段階の対応を話し合い、包括的・集中的（最長6か月）な支援についての方向性を話し合う会議。

会議参加者

チーム医：釋舎龍三医師。事務局：福祉課1名。チーム員：保健衛生課4名。包括2名。

月　日	曜	内　　容	場　　所	参加者数
4月13日	火	相談対応ケースについて	ときや内科	8名
5月18日	火	相談対応ケースについて	書面	8名
12月14日	火	相談対応ケースについて	ときや内科	7名

②認知症サポーター養成講座

認知症の人と家族への応援者である認知症サポーターを育成するため、養成講座の講師役として協力した。

月　日	内容／会場	担当者	参加人数
10月15日	認知症サポーター養成講座／東野保健福祉センター	川上・墨田高	4人
10月22日	認知症サポーター養成講座／大崎上島開発総合センター	川上・墨田高	13人
10月22日	認知症サポーター養成講座（夜間）／大崎上島開発	川上・墨田高	3人

	総合センター		
11 月 5 日	認知症サポーター養成講座　ステップアップ研修／大崎上島開発総合センター	川上・墨田高	10 人
11 月 5 日	認知症サポーター養成講座　ステップアップ研修（夜間）／大崎上島開発総合センター	川上・墨田高	3 人
12 月 3 日	認知症サポーター養成講座　ステップアップ研修（定例民協）／木江役場	川上・墨田高	38 人
1 月 24 日	認知症サポーター養成講座（生徒対象）／海星高校	墨田高	23 人

（３）障害者支援の推進

大崎上島町自立支援協議会定例会へ出席し、障害者の地域生活を支えるため、相談支援事業の適切な運営及び障害福祉に関するシステムづくりに関して、中核的な役割を果たす協議の場へ参加した。（7 回出席）

参画メンバー

自立支援協議会：住民代表、保健・医療関係者、福祉関係者、サービス事業関係、地域関係者、高齢者を支援している関係者

７．社協が取り組む事業との連携

（１）生活支援サービスの体制整備の推進

・支え合う地域づくり協議体委員会

支え合う地域づくり協議体委員会へ出席し、地域包括ケアシステムの構築を目指し、共に考え、共に支え合う地域づくりを推進した。（1 回開催）

参画メンバー

支え合う地域づくり協議体：住民代表、保健・医療関係者、福祉関係者、サービス事業関係、地域関係者、高齢者を支援している関係者

（２）ボランティア活動や地域福祉活動の推進・支援

・大崎上島町被災者生活サポートボラネット推進会議（7 月 28 日）

（３）包括的な相談支援体制の構築

・くらしの相談会（介護、障害、子供、困窮）への参加

８．その他の業務及び研修への参加

（１）出張・研修

地域包括ケアの考え方の下、中核機関として、地域包括支援センターが地域支援に対する役割は大きく、その基本機能を果たすべく積極的に受講・学習し、資質向上、研鑽に努めた。

月　　日	出張・研修内容	出　張　先	担当
4 月 13 日	退院前カンファレンス	竹原市　安田病院	川上
4 月 16 日	令和 3 年度キャラバン・メイト養成研修	広島市　国保会館	川上 墨田高
6 月 25 日	広島中央地区認知症疾患医療連絡協議会	オンライン	川上

12 月 9 日	令和 3 年度広島県自立支援に資する介護予防ケアマネジメントのためのアセスメントマニュアル活用研修	オンライン	墨田順
12 月 14 日	広島市南区ブロック・南区地域包括支援センター12 月連絡会 主任介護支援専門員として備える災害対策 ～災害に強い事業所づくりと業務継続計画（BCP）の考え方～	オンライン	墨田高
12 月 16 日	令和 3 年度研修・出版部会主催 ケアマネジメント向上研修 「医療・介護連携によるベストエフォート型ケアマネジメントの構築」～2040 年に向け、誰もが納得できる支援のために～	オンライン	墨田高
12 月 21 日	令和 3 年度地域包括ケアシステム評価結果に係る市町情報交換会	オンライン	川上 墨田高
1 月 14 日	令和 3 年度広島県地域包括・在宅介護支援センター協議会　リーダー研修会 「包括的・継続的ケアマネジメント業務における環境整備について」	オンライン	墨田高
1 月 20 日	広島市南区ブロック・南区地域包括支援センター1 月連絡会 チームの成果を最大限に引き出すリーダーシップ～問題分析力・意思決定力の向上のためのケースメソッド演習～	オンライン	墨田高
2 月 28 日	令和 3 年度認知症地域支援推進員及び認知症初期集中支援チーム員合同研修会	オンライン	川上 墨田高

（２）認知症の人と家族の会の開催

認知症の人を介護する家族等を対象に、日頃の悩みの相談や仲間づくり等、精神的負担軽減につながるよう役場福祉課が行っている「カフェ・オレンジ（認知症カフェ）」のスタッフと合同で座談会を中心に開催した。

月　日	曜	内　　容	場　　所	参加者数
4月23日	金	座談会	オレンジハウス	21名
6月25日	金	座談会	オレンジハウス	18名
7月23日	金	座談会	オレンジハウス	14名
8月27日	金	座談会	オレンジハウス	16名
9月24日	金	座談会	オレンジハウス	13名
10月22日	金	座談会	オレンジハウス	14名
11月26日	金	座談会	オレンジハウス	14名
12月17日	金	座談会	オレンジハウス	16名
3月25日	金	座談会	大崎上島総合開発センター	15名

（３）地域密着型サービス運営推進会議の参加

月　日	会　　場　／　内　　容	担当者
9 月	大崎荘デイサービス運営推進会議（書面）	墨田高
3 月	大崎荘デイサービス運営推進会議（書面）	墨田高

（４）町福祉課との打合せ会議の実施

定期的（月１回）に町福祉課・保健衛生課の保健師の連絡会議へ出席し、情報共有を図り、連携の体制作りに努めた。